

SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 22

2012. 12. 12 (No.2713)

「上越市・坊ヶ池」



第2560地区ガバナー／鈴木重彦
会長／杉山幸英
会長エレクト／丸山行彦(クラブ奉仕A)
副会長／高橋司(クラブ奉仕B)
幹事／若槻八十彦
S A A／西山徳芳
会計／小出子恵出

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

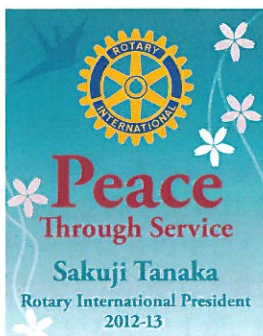
- 本日の出席会員数:54名中36名
- 先々週出席率:79.25%

【ゲスト】

・名誉会員 高橋一夫 様

【先週のメークアップ】

- [12.6] 三條ローターアクトへ
 - ・杉山幸英さん、 斎藤真澄さん
 - ・渡辺良一さん
- [12.7] ウィンターフェスティバルへ
 - ・会田二朗さん



「奉仕を通じて平和を」

2012～2013年度国際ロータリーのテーマ

会長挨拶

杉山幸英 会長



こんにちは、挨拶を申し上げます。

本日の卓話は名誉会員の高橋一夫さんです。高橋さん後ほど卓話を宜しくお願い致します。師走に入り何かと気忙しい今、先週のドカ雪・北朝鮮の長距離弾道ミサイル騒動・総選挙・名優と言われた方々の死と色々な事が有りました。今年もあと半月あまりに

なりました。師走の忙しさに翻弄されずに体をいたわり新しい年を皆さんと迎えられるように頑張っていきたいと思ひます。

挨拶を終わります。

幹事報告

若槻八十彦 幹事

◎鈴木ガバナー事務所より

「2015-16年度ガバナー・ノミニー候補者推薦について」

提出期限：2013年2月15日(金)

提出先：鈴木ガバナー事務所内

地区ガバナー指名委員会宛

提出書式：文書による、書式自由

◎次週19日(水)は、夜例会「ファミリークリスマスパーティー」

です。 18:30～/越前屋ホテル

夜例会ご欠席の方は、事務局で記帳をお願い致します。

ニコニコBOX

高橋一夫様

お久しぶりです。よろしくお願ひします。

杉山幸英さん

急にドカ雪が降りました。

先週米山功労者感謝状をいただきました。ありがとうございました。

近藤雄介さん

やっと退院をしました。約10kgやせました。

捧 賢一さん

いつもお世話になっておりますので。

中林順一さん

夕べ出張から帰ってきたら、上越線 長岡～六日町間が不通と表示されていて、大雪だったそうで、びっくりしました。12月久しぶりの大雪ですね。

高橋一夫 元市長の卓話、楽しみにしております。

山田富義さん

所用のため早退します。

高橋名誉会員の卓話を聞けず、残念です。

小出子恵出さん

初雪が根雪になってしまいそうです。大雪になりませんように。

高橋名誉会員様、卓話ありがとうございます。

樺山 仁さん

月初めの大雪にはビックリです。いよいよ冬本番となります。車の運転には気をつけませう。

本日の高橋名誉会員の卓話を楽しみにしております。

関川 博さん

32年ぶりに大雪の韓国は大混乱でした。インチョン空港で野宿しました。日本は良い国だと改めて感じます。

高橋様の卓話、楽しみにしております。

菊池 涉さん

あまりにも早くからの雪でガッカリしています。

本日は高橋様、卓話ありがとうございます。

熊倉昌平さん

名誉会員 高橋様の卓話を期待しておりました。

小林敬典さん

高橋一夫 元市長を歓迎して。

小越憲泰さん

久しぶりの高橋先輩の卓話、楽しみです。

吉井直樹さん

早い積雪に驚いています。雪カキというダイエットの季節をむかえましたので、トレーニングと思い、取り組みます。

高橋様、本日よりしくお願ひします。

明田川賢一さん

来週のクリスマス例会、一人でも多くの参加をお待ちしています。 親睦委員会副委員長

斎藤弘文さん

例会に来る途中、不在者投票を済ませて来ました。

石橋育於さん

早退します。

高橋様、すみません。

外山雅也さん、 大沼公成さん、 伊藤寛一さん

丸山行彦さん、 五十嵐晋三さん、 若槻八十彦さん

会田二郎さん、 松永一義さん、 荻根澤隆雄さん

金子俊郎さん、 米山智哉さん、 川瀬康裕さん

歸山 肇さん、 船越正夫さん、 渡辺良一さん

高橋 司さん

名誉会員 高橋一夫様、本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

12月12日分 ￥50,000

今年度累計 ￥666,000



名誉会員 高橋一夫 様

皆様こんにちは。私の記憶が正しければ2年ぶりの卓話です。何を話すかも決めず「はいはい」と返事をしたのですが、皆様にお会いするのが楽しみでお引き受けしました。

私は25年間社長をやっている間に毎年アメリカに2回、ヨーロッパに2回、アジアに2回と年に6回海外旅行をしていました。だいたい8割は仕事の関係で、最初か最後に少し観光しましたが百何十回は行ったこととなります。そこで今日は海外旅行の思い出ということでお話をしてみたいと思います。

私は三八豪雪の雪が融けた春に三条に帰ってきました。2年間東京で丁稚奉公をして26歳でした。それから4、5年経った30歳くらいの時に親父から「おい、海外旅行の誘いがあるが行ってみるか」と聞かれ是非行かせてくださいとお願いしました。燕のハウスウェアの業界の方々が、ドイツの見本市の視察を兼ねてヨーロッパとアメリカを1週間ずつ計2週間の旅行を企画されたのですが、二人足りないということで、たまたま私と今日おいでになっている野水大先輩の二人が三条から参加して出発いたしました。

為替が360円の当時でしたので一人部屋ではなく二人部屋でしたが、野水さんとご一緒させてもらっていろいろとお世話になりました。野水さんはわりと好き嫌いのある方で、食堂で一緒に食事をするのも食べなさい、これも食べなさいと2週間の旅行の間は1.5人分くらい食べさせてもらいました。野水さんには本当にお世話になりました。

最初がドイツの見本市で、ホテルに着いたのが夏のお昼頃でした。地下の食堂でお昼を食べることになり、暑がりの私は背広を脱いでネクタイをはずして食堂に行きました。ところがドアボーイが「コート、コート」と言うのもう一度部屋に戻ってネクタイをして背広を着てまたエレベーターに乗ったのですが、エレベーターはけっこう満員で私は一番ドアに近いところに立っていました。海外はレディーファーストでご婦人が先に降りてから降りるということは教わっていたのですが、出口が一番近い私が出ないで後ろのご婦人を先に出すのは非合理的だと考えて先に出ようとした瞬間、後ろにいた紳士に身動き出来ないほど強く背広を押さえられました。ご婦人が先に全部出た後、今度はものすごくにこにこして「どうぞ」ということでした。そして食堂に行くとき最初は「コート」と言っていたボーイが、私がネクタイと背広を着て入っていくとこれまたにこにこして「どうぞ」ということとなります。周囲にはきちっとする、そしてそれを守った時にはにこにこすれば変な感情は湧かないということを教えられました。この時の経験が身

にしみていて、いまだに国内でもエレベーターに乗った時はレディーファーストで通しています。

お昼の後部屋に戻って「野水さんお風呂に入りましょう」と言って風呂の蛇口を空けてベッドに横になっていたらいつの間にか二人とも寝てしまい、パシャパシャという音で目を開けてみたらバスルームが満杯になって部屋に水が入り始めていました。野水さん大変だと起こして二人でバスタオルを絞ってはバスタブに戻して事なきを得ました。私たちの部屋は絨毯が敷いてなかったのですが、後で聞いた話で絨毯は廊下から部屋まで一枚ものなので全部取り換えると大変な費用だそうで、絨毯がなくて助かったと先輩に言われました。ホテルにいる時は風呂に気をつけて眠らないようにと、これもその時の経験が生きています。

三日間の予定の見本市を二日間見学した後、見本市は大体わかったので希望者は明日一日だけハウスウェアのデザインが素晴らしいデンマークに行くことになりました。一日分の着替えと道具を持ってロビーに行くと、明道登さんだけがおられて結局二人だけで行くことになりました。

添乗員とタクシーで空港まで行くとデンマークとイギリスまでの切符を渡されて添乗員は帰ってしまいました。飛行機も混んでいて当日切符の私と明道さんは座席も離れてしまい、デンマークの入国手続きの書類は隣の女性が私のパスポートを見ながら書いてくれました。何とかデンマークに到着しましたがその日のホテルが決まっていなかったので日航のカウンターでホテルとタクシーを手配してもらい、その後二人でハウスウェアのいいデザインを見に行こうとカメラを持って町に出ました。

デパートを探したのですが言葉も通じずなかなか見つけられない時にハウスウェアの専門店を見つけ入りました。その日は土曜日だったのですが、店主がもう店を閉めると言うので明道さんがいいデザインのものをカメラで撮ろうとしたら「No」と言われ、今度はそれを買おうとすると今日はもう閉めるので月曜日に来いと言われました。私たちは明日イギリスに行くので月曜日は来られないと言ってもダメで外に出されました。

ちょうどお昼でレストランに入ったのですが、メニューはドイツ語でさっぱりわからずショウウインドーのサンプルもメニューの写真もないので他のテーブルで食べている人の料理を指差してあれをくださいと言いました。随分待たされてやっと料理が運ばれて来たと思ったら別のテーブルに持って行ったのでこちらじゃないかと言ったらひどく叱られてしまい、結局ちょっとしたお昼に1時間以上かかってしまいました。

レストランを出た後本屋があったので入ってみるとそれは成人向けの本屋で、すごい本だねと言いながら二人で見ていると7、8人のサラリーマンが私たちの肩越しに本を覗いていました。

夕飯はお昼以上に時間がかかると思い早めに食べ

ることにしてレストランに入りました。そこにはたまたま日本人のウェイトレスがいてデンマークの仕組みなどを教えてもらいました。例えばデンマークのレストランではお客さんから注文をもらおうとウェイトレスがホテルから料理を買ってそれをお客さんに売ります。そのマージンとお客さんからのチップで生活をしているそうです。また自分の担当するテーブルは決まっています他のテーブルから声がかかっても行かないし、お客さんが他のウェイトレスを呼んでも来ません。最初は隅の方のテーブルを任されて、だんだん成績が上がってくるといい場所をもらえるようになるそうです。久しぶりに日本語が通じたのでそこで遅くまでお酒を飲んで食べました。

翌日イギリスに着いて飛行場からホテルに行く時に、タクシーに乗ろうとしたらバスで行けと言われたので言われた通り赤い二階建てのバスに乗ってみたらちゃんとホテルの前に着きました。ところが両替をしていなかったのでバスを降りるときにお金がなく、車掌はぶつぶつ言いながら両替してくれましたが、飛行場に着いたらまずその国の通貨にチェンジしなければと思いました。

1週間のヨーロッパ旅行の後、たしかシカゴからニューヨークに入ったのですが、アメリカに行くとなぜか日本に帰ってきたようにホッとしました。ヨーロッパは古いお城や街並みがあって外国に来たという感じがするのですが、アメリカは大きな四角いビルと大きな道路と大きな自動車と大きな人間という違いはあっても東京や大阪と環境や景色はよく似ています。

たまたまトイレに入って隣の人に日本人かと聞かれ、そうだと答えるとどこから来たか聞かれたので「シカゴ」と答えたのですがさっぱり通じません。「シカゴ」「シカゴ」と言っても通じなかったのですがやがて「チカゴか？」と聞かれやっと通じました。英語で話をするのは大変だと思いましたが、むしろ英語圏でないドイツあたりの方が英語が通じるような気がします。また通りを歩いていたら道を聞かれたのですが、異民族がいっぱいいるアメリカでは誰がアメリカ人か日本人かわからないので、日本では考えられないけれども当たり前なんだと実感させられました。

毎月毎月、関西の方が商品の売り込みに来られます。三条から持っていくのは昔からの鋸や鉋や玄能、大工道具や作業工具ですが、関西から来る人達は毎月新しい商品を持ってこられます。どうして毎月新し

い商品が開発できるのか不思議だったのですが、ヨーロッパからアメリカを回ってみてそこにいっぱい商材があることがわかりました。関西の人達はヨーロッパ、アメリカから委託されてそれを作って輸出し、それを日本向けにアレンジして国内に売っているのだと気が付きました。もう10年か15年早く外国を回っていたらもっとたくさんの商品を持ってきて開発して三条の物産にできたのではないかと残念です。

三条に貿易振興会という会があって、私も後で入れてもらいましたが作業工具の人達を中心にヨーロッパや他の国に毎年市場視察に出掛けています。当時パールさんと田辺さんの若い二人が下村工業の下村栄蔵さんに連れられて視察に出掛けた際、二人は日本でも売れそうな商品が海外にたくさんあることに気づいていっぱいサンプルを買ってこられました。あの時に金物屋を一人連れて行ってもらうとか、作業工具のサンプルや工場見学だけではなく三条で出来そうなサンプルを持ってこられていれば、もっと新しい幅の広い商品ができたのではないかと感じます。

それから私はいろいろなサンプルを持ってきて試してみたのですが、関西の人達はすでに知っていたので、なかなかヒット商品は生まれませんでした。

先日、福田木工さんにお邪魔しました。昔はタコ糸巻きを作っておられました、倅さんは万単位の箸や木のスプーンなど従来三条にはなかった木製品を作られて伊勢丹などのデパートでも売っておられます。その倅さんのお母さんが、ドイツの見本市に行く倅に呼ばれて一人で行くことになって心配だと言っておられたので、海外で使える携帯電話を持っていけば安心ですよと言いましたが、積極的に海外に行くことはいいことだと思います。

今まで品質はいいが値段は安いというのが三条の通り相場でしたが、スノーピークさんは品質もいいけれども値段も世界一なんだと言ってキャンプ用品を海外に展開しておられます。諏訪田さんは爪切りで世界に通用する製品を作って販売されています。先日市長に、三条のいろいろな業種の世界ナンバーワンを作っている企業をグループ化したら面白いのではないかと話しました。三条の若い人たちがどんどん海外に出ていって海外を市場として高い品質のものを高く売って、三条の産業がもっと発展することを祈っています。

ご静聴ありがとうございました。

次週例会 12月26日 「外部卓話」 三条信用金庫理事
総合企画部長 陣内純英 様

次々週例会 1月2日 クラブ休会

